

あらかわで

俳句にふれてみませんか

第41回

あらかわ俳壇 入選作品発表

題 花吹雪・若葉風・麦の秋・当季雑詠

「第41回あらかわ俳壇」では計1610句の投句がありました。

※佳作は、荒川区ホームページをご覧ください

選者 荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏

小中学生の部 (計251句)

一般の部 (計1359句)

入 選	特 選
純白の空へと のぼる 白の花 (汐入小学校5年・田中今日花さん)	風薫る視界を埋める 白いもや (春日市立春日中学校3年・山本菜音さん)
残花の間ぬつてくる陽は人さそう (第四峡田小学校5年・吉田菜田さん)	五月晴れ仲間と一緒に駆け抜ける (春日市立春日中学校3年・郷田雅さん)
五月晴れ仲間と一緒に駆け抜ける (春日市立春日中学校3年・郷田雅さん)	さらさらとひかるさみだれつゆのたま (お茶の水女子大学附属小学校1年・しょうばしょうさん)
前髪を揺らす知らせや若葉風 (さいたま市立大宮南中学校2年・福島幸之介さん)	

入 選	特 選
川端の芭蕉の句碑に若葉風 (練馬区・鈴木英晴さん)	しずしずと川に降りたる花吹雪 (須崎市・野中泰風さん)
若葉風初めて触れる点字図書 (越谷市・小田穂藻さん)	「しずしずと」の古典語が花吹雪の動きを儀式 のような美へ昇華させ、川へ降りる花片が人生の 儚さと自然の営みを重ねる。視覚、聴覚、時間の 流れが一句に宿り、静けさの中に精神性が立ち上 がる句でありましよう。
麦の秋地平を溶ける夕陽かな (茅ヶ崎市・宮永武彦さん)	花吹雪旅立つ人の頬を撫で (松伏町・ににさん)
花吹雪旅立つ人の頬を撫で (松伏町・ににさん)	旋盤の切子さらさら若葉風 (荒川区・茂木尚美さん)

第43回

あらかわ俳壇 作品募集

- 木守〔晩秋〕
柿の木等で、鳥のため・来年のために「一つだけ残しておく実」。
やさしい心が宿る季語で、初心者にも詠みやすいです。
- 冬隣〔晩秋〕
「冬がすぐそこまで来ている気配」。
寒さの兆し、光の弱まり、音の静けさ等、どんな場面でも詠めます。
- 湯豆腐〔初冬〕
家庭の温かさが出しやすく、誰でも詠める優しい季語。
「湯気」「白さ」「静けさ」が俳句に向いています。

【題解説】 荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏

対 象	▶一般の部……15歳以上の方（中学生は不可） ▶小中学生の部……中学生以下の方
賞・賞品 (各部門)	▶特選（1句）……区内共通お買い物券3000円分（小中学生の部は、図書カードNEXT1000円分）、俳句グッズ ▶入選（5句）……俳句グッズ ▶佳作（10句）
選 者	荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏
投句方法	区役所3階文化交流推進課、あらかわエコセンター等の各投句箱、はがき・ファクス・荒川区ホームページで、応募部門・住所・氏名（ふりがな）・年齢（小中学生の部は学校名・学年も）・電話番号・俳号（ある方のみ・ふりがなも）・作品（ふりがな）を記入 ※未発表の作品に限ります ※投句数の上限はありません ※応募原稿は返却せず、著作権は荒川区に帰属します
締 切 り	12月31日(休)消印有効
応 募	〒116-8501（住所不要）あらかわ俳壇事務局（文化交流推進課内） ☎（3802）3795 FAX（3802）4769

問合せ あらかわ俳壇事務局（文化交流推進課内） ☎（3802）3795

入 選
夏空へ都電追ひかけペダル踏む (江戸川区・相場恵理子さん)
涼しさや大樹の脇を行く都電 (荒川区・川井多美子さん)
ソフトクリーム 拭き残した口遊園前 (荒川区・汐風さん)
雲の峰めざす都電の走りかな (荒川区・木下君穂さん)
昭和という終着駅へ白雨抜け (京都市・岸野由夏里さん)

特 選
荒神輿都電の客も肩ゆらす (荒川区・高仲絹さん)
選 評 夏祭りの熱気が都電の車内 まで染み渡り、地域の一体感 が軽やかに伝わる句。動と静 の対比が巧みで、肩の揺れに 祭りの鼓動が宿る。荒川区ら しい土地性も生きている秀 句。

都電荒川線
問合せ ☎（3802）3795
選 者 荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏ほか

令和8年度夏

あらかわ俳句吟行会
入選作品発表

「令和8年度夏あらかわ俳句吟行会」では計165句の投句がありました。